

やりたいことを本気で考え、企業と共に顧客の感動を実現！

顧客価値共創プログラム

Customer Value Co-Creation program

【第7期】参加者募集

2026年5月開講

参加費
無料

共催：大阪公立大学／KANDO株式会社／三井住友海上火災保険株式会社

プログラムの特徴

01

「マーケティング」や
「ビジネスプランニング」を
実践で学べる

02

講師や参加者と議論し
自分のやりたいことが
見つかる、形にできる

03

最終発表で選ばれた
企画は企業と一緒に
社会実装を目指す

プログラムの概要



講師(例)



KANDO株式会社 代表取締役 高橋 輝行

東京大学大学院理学系研究科卒／デジタルハリウッド大学院DCM修士。
2000年、博報堂入社。営業職としてベネッセコーポレーション、アスキー、ゲーム会社等の 広告ブランディングを推進。その後、SBIグループの知財コンサルティング会社を経て、2007年に経営共創基盤(IGPI)に参画。チケットぴあに出向し経営再建を主導。2010年KANDO株式会社を創業、中堅・中小企業を中心に100社以上で新商品/新事業開発プロジェクトを推進。2020年に10年かけて開発した世界初の価値創造のチームマネジメントメソッド「Roles®」をリリース。
大阪公立大学／桜美林大学・大学院非常勤講師(リーダーシップ/チームマネジメント専門)

堺の伝統的なものづくり企業に
学生の新たな発想を吹き込み
世界に注目されるブランドを作る

内容

本プロジェクトでは、世界的な包丁メーカーである「福井」のクラフトマンシップを活かして、世界に注目される新たな商品ブランドの立ち上げに挑戦してもらいます。欧米から注文が殺到、今後中国市場への進出を考えています。中国市場を中心に考えてもらいたいですが、日本や欧米でも構いません。学生さんの想いと斬新な発想で人を感動させるブランドを考えてください。

対象

- ・新商品や新サービスの企画に興味がある人
- ・新ブランドを0から立ち上げる経験がしたい方
- ・就職活動に向けて質の高いアウトプットに挑戦したい方

募集人数

3～5名 ※募集人数を越えた場合は選考

日程

第1回「オリエンテーション&担当者プレゼンテーション」は対面で、他大学との合同開催になります。

【日時】5/15(金) 18:30～20:00

【場所】I-Site なんば

毎週金曜 18:30～20:00

	日程	形式	
第2回	5/22	Zoom	方針の「4つのW」(Who, What, Why, wish) を考える
第3回	5/29	Zoom	議論を通じて方針の「解像度」を上げる
第4回	6/5	Zoom	企画の「2W2H」(4W+Where, When, How, How much) を考える
第5回	6/12	Zoom	議論を通じて企画の「解像度」を上げる
第6回	6/19	Zoom	企画の「ビジネス構造」と「収支構造」をアウトプットする
第7回	6/26	Zoom	相手をハッとさせる「伝え方」を突き詰める
第8回	7/3	対面※	企業へのプレゼンテーション&担当者からの講評

※第8回 対面開催は、「中百舌鳥スマートエネルギー棟」を予定



プロジェクト担当者より一言

堺包丁の職人技を、世界へ。

私たちは何百年もの歴史と誇りを胸に、一本一本の包丁に魂を込めてきました。鍛え、研ぎ、仕上げる——その工程に妥協は一切ありません。切れ味・耐久性・美しさ、どれをとっても世界最高水準の品質だと自負しています。

しかし、私には悔しさがあります。これだけの技術と想いを持ちながら、その価値を世界に伝えきれていない。ブランドとしての見せ方・伝え方において、私たちはまだ道半ばです。

だからこそ、皆さんの力が必要です。固定観念のない柔軟な発想、デジタルネイティブならではの感性、世界を当たり前に見渡す視野——それは職人である私たちが持ち得ないものです。私たちのクラフトマンシップと、皆さんのアイデアが本気でぶつかり合えば、堺の包丁は必ず世界中の台所に届くブランドになれる。そう確信しています。一緒に世界へ飛び出しましょう！

株式会社福井 代表取締役 福井基成

HADO Brand Site

<https://hado-knife.jp/>



200名以上のCVCC卒業生が社会で活躍！

起業：ネイル整形サロン「VISOK」



大阪公立大学CVCC第1期生
大阪公立大学大学院 看護学研究科
博士前期課程2年(参加時1年)
蔭西訓子さん

ビジネスの本当のコアなところのエンドユーザー視点を学ぶことができ、それを原点として今も毎日思い出しながら事業をやっています。

<アドバイス>

私と同じように、自分の強みを活かしてビジネスをしたい人は絶対に参加された方がいいと思います。売上や儲けを考えるよりも先に、顧客の感動体験を突き詰めることがビジネスの原点、働くことの本質だと気付けます。そこに早いうちに気付けるかどうかで、その先自身の強みの磨き方が大きく変わるような気がします。

私は大学院に入る前、足専門の看護師の仕事をしていた、自分の看護師の技術を活かしたビジネスをしたいと思って参加しました。CVCCでは、数字を元に儲かるビジネスを考えることの難しさを痛感しましたが、自分の強みを活かして、顧客や提供価値を突き詰めることの面白さを実感しました。

社会実装：井筒八ツ橋本舗「Yatsuken」



大阪公立大学CVCC第2期生
大阪芸術大学 デザイン学科
グラフィックデザインコース4年(参加時3年)
金澤夏那さん

のが初めての経験で苦労しましたが、自分の大きな成長に繋がりました。

<アドバイス>

恐れずに挑戦してみることが大事だと思います。私はお菓子が好きで、その魅力を人々に届けたいという想いがモチベーションになりました。好きなことと得意なことが重なると力が発揮しやすく、結果にもつながりやすいと思います。いろんな人が参加して、新しい価値がもっと世の中に生まれていったらいいなと思います。

もともとパッケージデザインに興味があって、募集テーマと合致したので応募しました。他の人との意見交換や、産学協働で学べる機会が貴重だと感じたことも大きな理由です。CVCCでは、週一回のミーティングでプレゼンを行い、実際の顧客をイメージしながら、お菓子やパッケージデザインを具体化する

全国のCVCC大学生の声

このプログラムに参加して、毎週の発表を通して自分の考えがどんどん深まっていくだけでなく、他の参加者の考えもどんどん深まっていくのを見てよい刺激をもらいながら、参考になる部分を真似したりしてたくさんのことを学ぶことができました。(広島大学 教育学部 1年)

どのようにビジネスを始めていくかのプロセスについては、このプログラムで大きな学びを得られたと思う。今まではビジネスと言えば、大きく社会を巻き込んでやるものだ、という先入観があったが、本来のあるべき姿とは、「欲しがる買い手が存在する」といういわば商人の姿であり、それは必ずしもたくさんの買い手を必要とするわけではなく、むしろ小さなところから始めていくことが大事だと感じた。(大阪大学 経済学部 2年)

正直、学業との両立は簡単ではありませんでしたが、だからこそ最後までやり切れたことに大きな達成感があります。講義を重ねるごとに、自分のアイデアの解像度が少しずつ上がっていき、最終的には自信を持って企業の方々の前で発表できるまで形にすることができました。普段の学生生活では得られない、実践的で濃い経験を積むことができ、本当に参加して良かったと感じています。

(立命館大学 薬学部 3年)

日々の仕事と育児と家事、修士論文を書き進めながら毎回の課題は負担が大きく、正直仕事を理由に辞めようかと数回思いをよぎることがありました。しかし、同じ受講生の学生さんの真っすぐな熱意、資料作り、毎週改善される内容に非常に励まされ修了することができました。本当にメンバーに助けてもらいました。(大阪公立大学 都市経営研究科 2年)

選抜された先輩たちが、社会実装に向けて挑戦しています！

申込方法



Step1

申込みフォーム
にアクセス



<https://forms.office.com/r/DMNYj1amiL>

Step2

必要事項を入力



Step3

5月1日(金)まで
にメールで通知



定員を超えた場合は、下記「選考基準」により選考。キャンセルは原則不可です。

申込・参加の際の注意事項

申込期限

2025年
4月24日(金)
12:00

選考基準

- 1) 本プログラムで実現したいこと
 - 2) その理由 (想い、原体験)
 - 3) 発揮できる強み
- ※企画力、デザイン力等

最終アウトプット

企画書の提出と
プレゼンテーション

本プログラム修了者には、KANDO社のCVCCインターンシップ修了証を発行

大学からのメッセージ

大阪公立大学 国際基幹教育機構 高度人材育成推進センター長
松井 利之



「総合知を活用し、新たな価値を多様な人と共創する」

今後、皆さんがどのような社会に歩みだそうと、将来必ず必要とされるスキルの一つです。このプログラムでは、これまでにそういった活動経験がない人でも、自然にその体験ができるように設計されています。

普段の大学生活では交わらない社会人の方々と、ともに考え、工夫し、また顧客となる人の意見を集約していくことで、新しい価値を創造する経験ができるはずです。これらの学びは、何よりも楽しく、そして刺激的な体験になります。是非、積極的に参加し、価値創造のスキルアップや企業とのネットワーク作りに役立ててください。

<本プログラムに関するお問合せ>

大阪公立大学 国際基幹教育機構 高度人材育成推進センター

[TEL] 072-254-8265

[Mail] gr-idec-jinzai@omu.ac.jp